

令和4年度 在宅チーム医療を担う多職種研修 実施報告

<p>実施概要</p>	<p><研修タイトル> 第9回 在宅チーム医療を担う多職種研修 BCP（事業継続計画）策定の基礎を学ぶ</p> <p><日時> 令和4年11月14日（月）19時15分～21時15分</p> <p><開催方法> オンライン（都筑区医師会館から配信）</p> <p><内容> BCPとは何か、具体的な策定手順や考え方などのBCP策定の基礎について、地域とのつながり、多職種連携も考えながら学ぶ。</p> <p><講師> 山岸 暁美 氏（慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室講師、一般社団法人 コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長）</p> <p><参加者> 53名</p> <p>【内訳】</p> <p>医師（5名）、病院看護師（1名）、訪問看護師（2名）、歯科医師（4名）、薬剤師（6名）、リハ職（2名）、行政職員（11名）、ケアマネジャー（9名）、介護福祉士（4名）、ホームヘルパー（1名）、地域包括支援センター職員（4名）、包括以外のケアプラザ職員（1名）、その他の職種（3名、職種：居宅事業所職員、薬局経営、在宅医療相談室事務）</p>
<p>参加者等の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に各地域での事例等に基づき説明してくださり、考え方や取り組み方がとてもわかりやすかった。 ・BCP策定のポイントや必要性、ステップ毎の大まかな考え方等、多くを学ぶことができた。 ・有事の際は自施設だけでは業務を継続できないことに改めて気づかされた。平時から、地域や他のサービスとつながりを持つこと、多職種連携が大切だと理解できた。 ・BCP策定の考え方を通して、日頃から地域のつながりや多職種連携の必要性について、改めて考えさせられた。
<p>研修の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果や振り返りより、講義はとてもわかりやすく、BCP策定の基礎や必要性を学ぶことができたという意見が多くあり、好評だった。 ・BCPの理解を通して、日頃からの地域のつながりや多職種連携の必要性を再認識した旨の意見も多くあった。 ・今回は、BCP策定の基礎を学ぶことを重視するという方針から、グループワークの時間を設けなかった。しかし、多職種で学び合える工夫として、オンラインでも参加者の生の声が共有できるように、質問者が顔を出して講師に直接質問する形式とした。 <p>今後も、顔の見える関係づくりを意識した研修方法・内容を検討していく必要があると考える。</p>
<p>次年度に向けて</p>	<p><実施概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：高齢者虐待 ・開催時期：11月頃

R4年度 在宅チーム医療を担う多職種研修アンケート集計結果

回答数:45人(参加数:53人、回収率:85%)

※記述式部分は一部抜粋(類似意見は要約の上で、()内に件数を記載)

1. あなたの属性を教えてください。

職 種	人数	割合(%)
医師	3	6.7%
歯科医師	4	8.9%
薬剤師	6	13.3%
病院看護師	1	2.2%
訪問看護師	1	2.2%
栄養士	0	0.0%
歯科衛生士	0	0.0%
リハビリ職	2	4.4%
医療ソーシャルワーカー	0	0.0%
ケアマネージャー	8	17.8%
介護福祉士	3	6.7%
ホームヘルパー	1	2.2%
施設介護員	0	0.0%
地域包括支援センター職員	4	8.9%
包括以外のケアプラザ職員	1	2.2%
その他	11	24.4%

【内訳】居宅事業所職員、薬局経営、在宅医療相談室事務、行政

45

勤務場所	人数	割合(%)
病院	2	4.4%
診療所	7	15.6%
薬局	6	13.3%
居宅介護支援	6	13.3%
訪問系サービス	5	11.1%
通所系サービス	0	0.0%
小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護	2	4.4%
入所施設	3	6.7%
地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	5	11.1%
その他	9	20.0%

【内訳】都筑区医師会、横浜市役所、都筑区役所

45

在宅医療・介護の経験年数	人数	割合(%)
～5年	10	22.2%
6～10年	10	22.2%
11～15年	7	15.6%
16～20年	8	17.8%
21年～	8	17.8%
未記入	2	4.4%

45

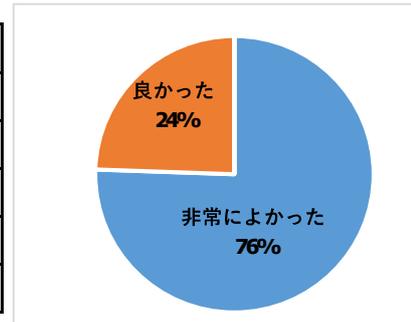
多職種研修の参加の回数	人数	割合(%)
初めて(1回目)	12	26.7%
2回目	7	15.6%
3回目以上	26	57.8%

45

2. 研修について

(1) 本日の研修はいかがでしたか

研修について	人数	割合(%)
非常に良かった	34	75.6%
良かった	11	24.4%
どちらとも言えない	0	0.0%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%



45

「非常に良かった」「良かった」の理由

■具体的でわかりやすかった

- ・具体的に各地域での事例等に基づき説明してくださり、考え方や取り組み方がとてもわかりやすかった。(6)
- ・即実行に移せる具体的な内容だった。
- ・他のBCP研修には無かったケアマネにも活用できそうな内容であった。とても分かりやすく、丁寧に身近に感じることができ良かったと思います。
- ・「BCP」義務化と聞いて沢山の資料を作成しなければならないと気が重かったが、山岸先生の説明は具体的な事例を盛り込んでくださり、とても身近に感じることができました。災害は常に背中合わせなので、真剣に社内でも取り組んでいこうと強く思わせていただけるいい研修でした。
- ・BCP策定は嫌というほど聞いておりますが、結局よくわからない、というのが今まででした。本日の研修は一番わかりやすく、やれるかもしれないと思えるようになりました。ありがとうございました。

■地域BCP、連携等について学べた

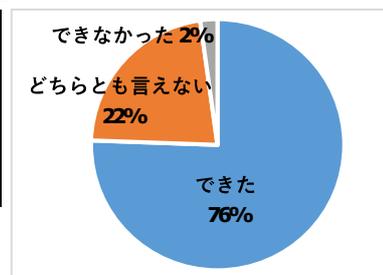
- ・BCP策定を介護事業所として求められており、且つ地域での防災、連携について考えていく必要もあるため
- ・在宅医療の災害時における医療提供体制強化を考えるよい機会でした。ありがとうございました。
- ・有事の際に動けて継続できる組織づくりを準備しておく重要性を考えさせられた。
自分の事業所を守る事が地域を守る事に繋がるので、この機会に深く考えたいと思う。
- ・各施設に求められているBCPIについて内容やその背景を知ることができたため。また、地域BCP観点で行政としてのかかわりの必要性を知ることができたため。
- ・自施設だけでなく地域全体のBCPを考える良い機会になったと思うから。
- ・BCPを策定しなければいけないので、形だけでも策定しないといけないと思っていた。本日BCPの基礎についてわかりやすくお話いただき、地域とのつながりを意識し、スタッフと話し合いながら策定することが大事だとわかりました。
- ・市役所内で課題の共有が図れた。

■BCP策定の具体的なイメージ、理解ができた

- ・BCPIについて理解ができた。(4)
- ・BCP策定のポイントや必要性、ステップ毎の大まかな考え方等、多くを学ぶことができた。(3)
- ・具体的なBCP策定の例の話と共に実体験も聞けて、策定のイメージが持ちやすかった。(3)
- ・災害対応マニュアルの上にBCPがある事が理解でき、考えが整理された。
- ・各事業所の種別によって分けていたり、どのようなステップで取り組んでいくのかを学ぶことができたのがよかったのではないかと思います。
- ・実際災害に遭ったことがないため、災害が他人事になってしまいがちだが、BCPを作成することで現実的なものとして捉えることができそうで、事業所の災害対策としては、とても有用とわかった。
- ・山岸先生の幅広い知識と経験から、様々な話を聞くことができ非常に有意義な時間となりました。より実用性が高く実現可能なBCP作成をしていかなければ意味がないと感じると同時に、皆で作りに上げないと実効性も乏しくなってしまうことがよくわかりました。正直、「難しいな」「大変だな」と感じてますが…。まずは自分の事業所のBCP作成チームを立ち上げることから始めないといけないようです。
- ・具体的な話を交えてくださったので、イメージしやすかったです。ただ、ボリュームが多く消化しきれませんでした。実際にBCPを策定する際、もう一度見返せるといいと思います。
- ・いつ来るかわからない災害と思っていましたが、本当に明日かもしれないと思う時、自分自身ですがスタッフ全員で考えておかなければ対応できない問題と考えられました。
- ・各介護事業所のBCPの策定が24年度から始まるが、何をすればいいのかわかり合の情報がなかったため、最初の一步としていい機会になりました。
- ・今後ぜひとも取り組む内容と思われた

(2) 本日の研修で、BCP策定の手順や考え方の基礎を理解できましたか

BCP策定の手順や考え方の基礎の理解	人数	割合(%)
できた	34	75.6%
どちらとも言えない	10	22.2%
できなかった	1	2.2%
45		



「できた」の理由

- ・ステップごとに具体的な例示があり、理解しやすかった。(2)
- ・基礎の基礎ですが理解でき、今後やるべき事、考えていかなければならない事が分かった。(4)
- ・一度の研修で理解とは言えないかもしれないが、策定の手引きを読み返すことで理解できると思う。(4)
- ・ステップに沿って策定していくことが理解できた。災害対応マニュアルから確認していきたいと思う。
- ・今事業所がどのステップにいるということを知ることで、自分自身・スタッフ・みんなを守れる。
- ・大まかな概要はわかりましたが、実際に事業にどう取り組むかが課題です。(2)
- ・手順や考え方がシンプルであったことが、理解しやすかったと感じた。
- ・できたと思いたい。ただし第2弾、第3弾と継続していく必要があり、地域理解と関わりが大切と実感しており、明日から何が出来るかを考え中です。
- ・地域BCPに取り組む前に各事業所のBCP！
- ・講師のライドおよび説明がわかりやすかったため、基礎を学ぶ意味で理解できた。

「どちらとも言えない」の理由

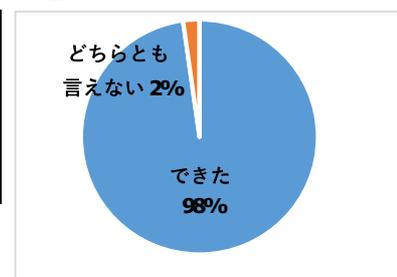
- ・知識としての理解は深まったが、実際にやれるかどうかはまだ自信がない。(2)
- ・大枠は理解できましたが、どこから作成していくか・・・となると悩ましいというところでしょうか。まずはスタッフと共に「妄想大会」から取り組んでみようと考えています。
- ・内容も多岐にわたり、1度だけでは消化できない
- ・実際に作ってみたことがないので、どこでつまづくのかわからないが、まず作ってみたいと思う。

「できなかった」の理由

- ・内容が難しく、資料も事前に読み込めず理解には至らなかった。頂いた資料で復習したいと思う。

(3) 本日の研修で、地域とのつながり、多職種連携の必要性について気づきを得ることはできましたか

地域とのつながり、多職種連携の必要性の気づき	人数	割合(%)
できた	44	97.8%
どちらとも言えない	1	2.2%
できなかった	0	0.0%
45		



「できた」の理由

- ・有事の際は自施設だけでは業務を継続できないことに改めて気づかされた。平時から、地域や他のサービスとつながりを持つこと、多職種連携が大切だと理解できた。(8)
- ・一事業所のできることに限りがあるが、地域や多職種と連携を取ることで、効率的で有効な支援につながると思った。(2)
- ・BCP策定の考え方を通して、日頃から地域とのつながりや多職種連携の必要性について、改めて考えさせられました。(2)
- ・有事の際に自施設だけでは成り立たない業務も、地域の事業所や行政と連携することで補完できるというアイデアは素晴らしいと思う。また、BCPに限らず質の高い医療・介護を安定的に提供するためには、地域とのつながりや多職種連携は欠かせないと改めて感じたから。
- ・山岸先生の話の中で、多職種それぞれが患者様(利用者様)へ安否確認をし、スマホ(携帯)の充電が無くなってしまったというところで、地域での日頃からの連携が重要であると再認識した。医療職・薬剤師・ケアマネ・介護職など手分けできるようなシステムを構築できるというのでは・・・と思った。
- ・薬局だけではどうにもならないこともあるし、薬局の患者さんだから分かることもあるので、日頃からの情報共有は必須と思いました。
- ・他の職種の方の災害時の対応を想像するよい機会を与えてくださいました。
- ・安否確認においては、連携して利用者の不利益にならないようにしたいと思いました。

- ・元々、必要性があると思っています。
- ・地域ケアプラザ通して、地域住民とのつながりをより一層持つべきと感じている。地域の集いに積極的に参画することでしょうか。
- ・難しい課題が山積みだからこそ1機関では解決しきれない事を検討できる場があり、ありがたいと感じた。
- ・日頃の業務の中で利用者に対するつながりや役割を再確認する場面を作ろうと思った。BCPについて多職種で学んでいきたいと思った。
- ・マンパワーの必要性
- ・自身の診療所が機能しなくなった時、日頃から助け合える連携、具体的な連携方法を考えておく必要性から
- ・自機関BCP以上になると、地域BCPなど常日頃からの多職種との繋がりがなければ、今回のBCP策定の厳しい部分が出てくると感じたため。
- ・高所にある施設と連携するなど、具体的に理解できた。
- ・自身の業務とは違った視点で地域の連携を考えることができました。
- ・BCPは、自施設で作成する機関型BCPだけでなく、連携型BCPや地域BCPといった施設間や地域内での連携によるBCPもあることを知り、日頃からの顔が見える関係づくりが大切であると感じました。
- ・自機関だけでなく他機関との連携の視点が欠かせない点があったとともに、平時からの取組の重要性も理解できたため。

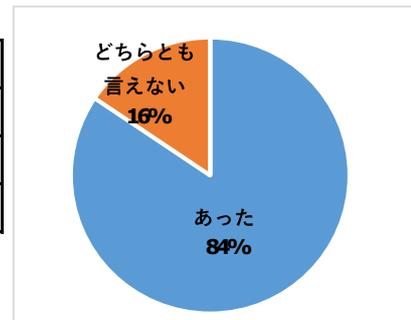
「どちらともいえない」の理由

未記入

(4)本日の研修を受けて、今後の業務に活かせることはありましたか

今後の業務に活かせること	人数	割合(%)
あった	38	84.4%
どちらともいえない	7	15.6%
なかった	0	0.0%

45



「あった」の理由

- ・平時から有事の時に何をすべきかの選択肢を増やしておくことが必要と思いました。(2)
- ・BCPを作成するノウハウを学んだ。(2)
- ・BCP作成への知識を得られた。さっそく活用していきたい。(3)
- ・何か月前に青葉区を中心とする長時間に渡る大停電が発生しました。利用者様で人工呼吸器や在宅酸素を使用されている方がおり、個別に連絡を入れさせていただいた。確認事項を文書にしておらず、スタッフと電話で話しながら決め、手分けしての連絡となってしまう、今回の研修を参考に手順等を具体的に作成できそうです。
- ・職員体制づくりの根拠の一つとなると思った。
- ・直近でエリア内で「防災をテーマ」に連絡会を行うことにしています。BCPについて理解を深めたことにより、整理がしやすくなりました。また事業所でのBCP策定に役立てていければと思う。
- ・常にもしもの時を考えて、実践していきたい
- ・災害だけでなく火災などでも同じような考え方の必要性があると思った。出来ることから始めたい。
- ・BCPを設定しておくことは、発災時に有用と感じました
- ・自施設のBCP策定に積極的に関わりたいと思います。
- ・BCPの作成は災害の規模のどこを想定すればよいのか、おぼろげながらわかった気がします。
- ・優先順位を考える際の参考となりそう。
- ・BCP作成をまず行いたい。発災時の対応についての報酬の事前取り決めなどは他業種では当たり前のことですが、医療福祉分野では何となくタブー視されているように感じていた。こういう話もどんどんしていけるといいです。
- ・あったけれど、実行できるか不安。
- ・包括ケアシステムの構築の実現を地域の支援者にも理解を深めていただきたいと思った。
- ・話し合い必要なことが再認識できた
- ・災害の想定とアクションカード
- ・まずは、地域での顔が見える関係作りが必要であると感じた。
- ・策定が義務化されているため
- ・コロナで地域連携の重要性を実感していたが、災害時に向けてさらに発展できれば良いと考えています。

- ・BCP策定だけでなく、策定の視点や連携を考える視点を日頃の連携や情報共有することで、災害時等の対応についてお互いに考える機会になると思った。
- ・いざ実際に包括BCPを進める際には、市全体である程度の方針が示されることが望ましいと感じた。

「どちらともいえない」の理由

- ・病院勤務ということもあり個人や自部署のみでできることは限られていると感じた。自施設でどのようにBCP/BCMの策定がされているのかを知るところから学習したい。
- ・何が活かせるか、どう活かせるか考えながら業務します。
- ・BCPが今後の業務に必要であることはわかったが、経営者ではないので、なかなか難しい。
- ・まだ行動に移れない
- ・必要性等の理解はできたが、実際の業務にどう落とし込んでいけるかという点については、担当業務の範疇だけでなく区内での連携、また市全体的にもある程度の方針が示されていないと難しいと感じた。

3. 次年度以降、本研修で開催を希望するテーマがあればご記入ください。

- ・第2弾:BCPIについての研修を開催していただきたいです。(3)
- ・BCPの話については深澤先生も話されていたように、継続して講義いただく機会があると助かります。災害があると妄想して準備、大事と思いました。
- ・発災時に都筑区でどう連携をとっていくか。
- ・本研修のバージョンアップもよいと思います。
- ・机上訓練等のシミュレーション研修が出来るとう嬉しい。
- ・褥瘡について

4. 研修に対するご意見・ご感想があればご記入ください。

- ・異常気象や感染症、事件など未曾有のリスクが珍しくなくなった昨今、BCPへの関心はありましたが、全く知識のないまま参加させていただいた。とても分かりやすくまとめられており、実際の災害時のエピソードや先生ご自身の体験などを交えた講義内容で説得力がありました。地域BCPはとても重要だと思います。今回の研修を足掛かりに、都筑区をあげて継続的な取り組みができると良いと思います。山岸先生、都筑区役所および医師会の皆様、誠にありがとうございました。
- ・遅い時間帯は大変かと存じますが、夜の方が落ち着いて参加できます。携わっていただきました皆様、ありがとうございました。
- ・いつも新しい目線からのテーマの研修で、新たに発見できることがあり、とても満足しています。実施された研修は、とても満足しています。ありがとうございました。
- ・多職種連携協議会の皆様、研修企画、調整、実施までとても大変だったかと思います。実施された研修は、とても良かったと思います。遅い時間までありがとうございました。スタッフの皆様、お疲れさまでした。
- ・今回はWEB研修で講演のみでしたが、SGD等で他の職種の方と意見交換が出来ればと思いました。
- ・大変よく理解できました。ありがとうございました。
- ・BCP作成の必要性と平時からの備えが大切である事が理解できた。職員皆、意見を出し合い作成していこうと思った。
- ・貴重な研修受講の機会ありがとうございました。
- ・医師会長からも話があったが、繰り返し学びたい。時間をとり丁寧に学ぶ機会が欲しい。出来れば対面で。
- ・2時間長いかと思いましたが、あっという間でした。ありがとうございました。